

## 地震に関する地域危険度測定調査結果(第9回)について

地震に関する地域危険度測定調査は、東京都が東京都震災対策条例第12条に基づき、昭和50年から概ね5年ごとに実施し、その結果を取りまとめているものである。

令和4年9月9日に「地震に関する地域危険度測定調査(第9回)」の結果が東京都から公表されたので、その概要と中野区に関する部分について報告する。

### 1. 調査の目的

- (1) 地震災害に対する都民の認識を深め、防災意識の高揚に役立てる。
- (2) 震災対策事業を実施する地域を選択する際に活用する。

### 2. 地域危険度の測定手法

#### (1) 概要

地震に対する建物倒壊、火災、総合の3つの危険度を都内5,192町丁目(市街化区域内)ごとに測定し、危険度としてあらかじめ構成比率を定めた5段階の相対評価にランク分けしている。

- ・建物倒壊危険度ランク図(別添資料1-1参照)
- ・火災危険度ランク図(別添資料1-2参照)
- ・総合危険度ランク図(別添資料1-3参照)

#### (2) 今回の調査の特徴

最新のデータと知見を反映し、より精度の高い測定方法へ改善している。

建物倒壊危険度では、木造建物について、2016年熊本地震における建物被害データを反映した建物全壊率を採用している。

総合危険度の測定にあたっては、災害時活動困難係数について、より実態に即して災害時活動に有効な空間や道路ネットワーク密度を算出し、評価している。

### 3. 中野区の調査結果

#### (1) 概要

- (別添資料2参照)
- (別添資料3参照)

( 第9回調査 町丁目数 )

危険度種別／ランク (危険度)	1	2	3	4	5	合計
建物倒壊危険度	7	60	18	0	0	85
火災危険度	8	33	28	16	0	85
総合危険度	12	26	31	14	2	85

○建物倒壊危険度(上昇6 下降0 変化なし79)

建物倒壊危険度ランク5は前回今回ともに「なし」である。

○火災危険度(上昇3 下降23 変化なし59)

前は、危険度ランク5は、野方二丁目、大和町二丁目及び三丁目、若宮一丁目の4地区であったが、今回は危険度ランク5の地区は「なし」となった。

○総合危険度(上昇1 下降17 変化なし67)

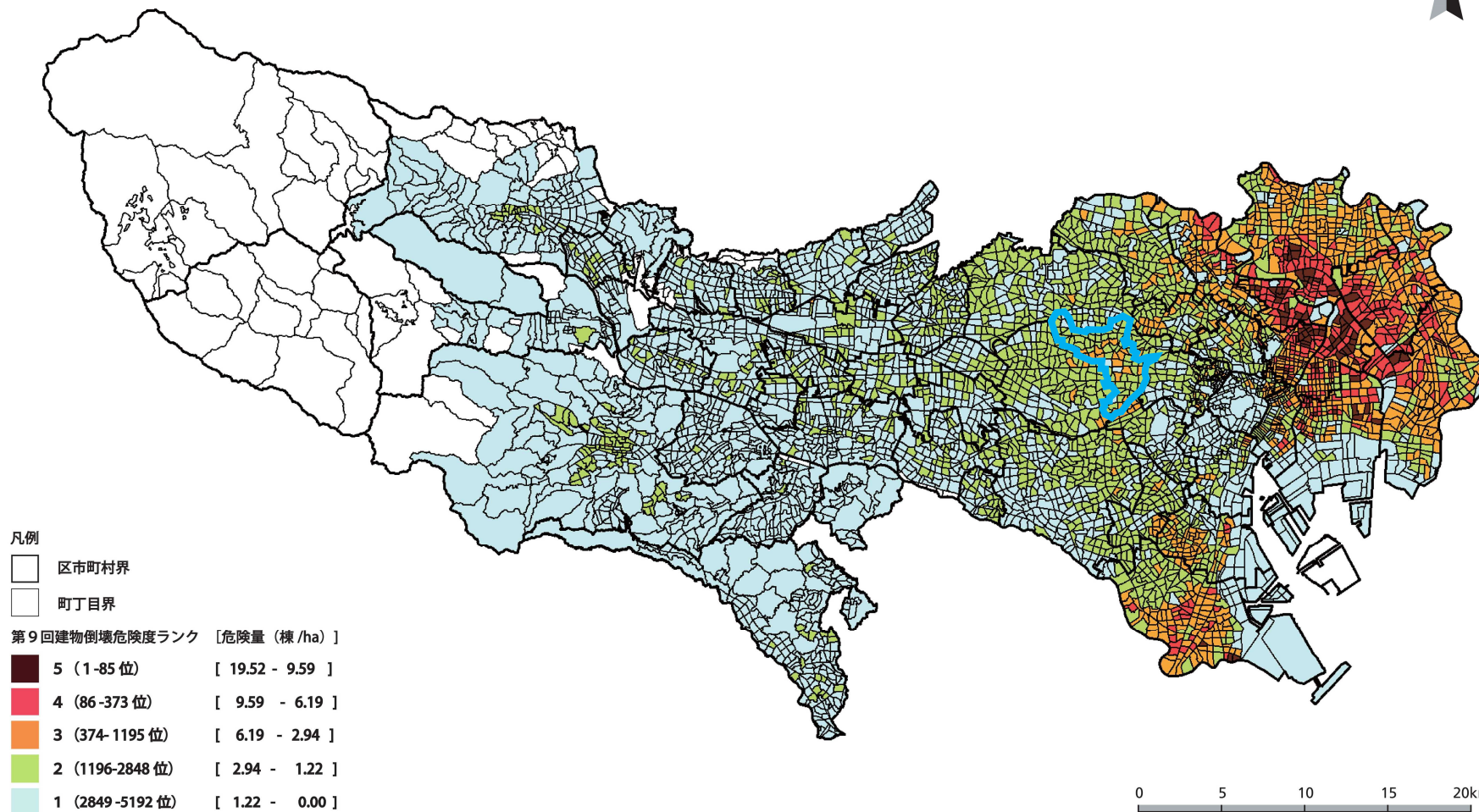
前は、危険度ランク5は、野方二丁目、大和町二丁目及び四丁目、若宮一丁目の4地区であったが、今回は危険度ランク5の地区は野方二丁目、若宮一丁目の2地区となった。

### 建物倒壊危険度ランク図

危険度の高い地域は、地震が起きた場合に、揺れが増幅されやすい軟弱な地盤である沖積低地で、古い木造や軽量鉄骨造の建物が密集している地域です。荒川や隅田川沿い地域などに分布しています。

	第9回 建物倒壊危険量 (棟/ha)	第8回 建物倒壊危険量 (棟/ha)	変動量 (棟/ha) (第9回 - 第8回)
東京都全体平均	2.16	2.79	-0.62

※小数点以下の四捨五入により、合計が合わない場合がある。



凡例

- 区市町村界
- 町丁目界

第9回建物倒壊危険度ランク [危険量 (棟/ha)]

- 5 (1-85位) [ 19.52 - 9.59 ]
- 4 (86-373位) [ 9.59 - 6.19 ]
- 3 (374-1195位) [ 6.19 - 2.94 ]
- 2 (1196-2848位) [ 2.94 - 1.22 ]
- 1 (2849-5192位) [ 1.22 - 0.00 ]

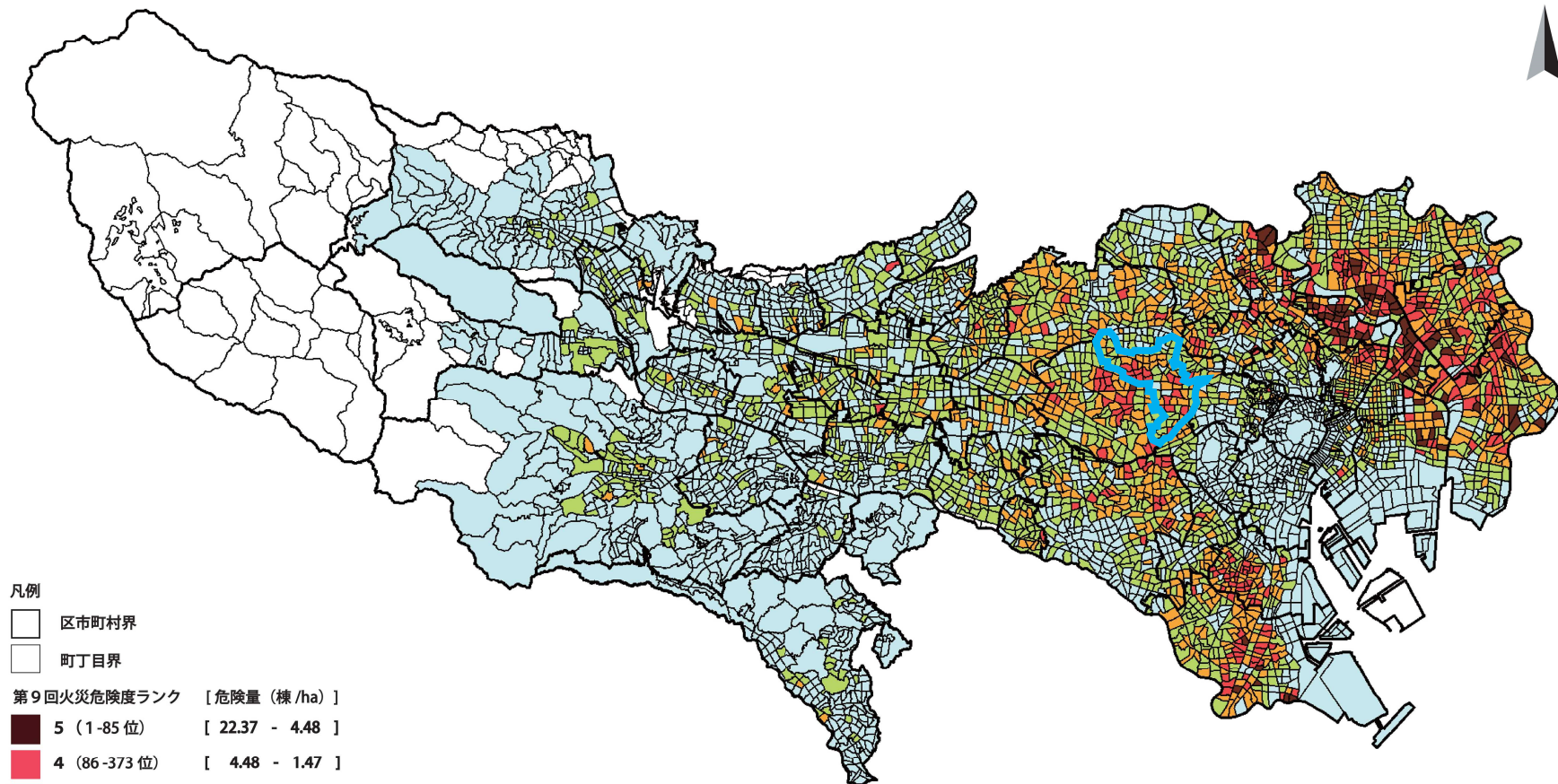
(注) 白抜きは測定対象外の区域を表します。

### 火災危険度ランク図

危険度の高い地域は、耐火性能の低い木造建物が密集し、延焼遮断帯が未形成の地域です。区部の環状第7号線の内側を中心としてドーナツ状に分布するとともに、JR中央線沿線（区部）にも分布しています。

	第9回 火災危険量 (棟/ha)	第8回 火災危険量 (棟/ha)	変動量 (棟/ha) (第9回-第8回)
東京都全体平均	0.45	0.97	-0.52

※小数点以下の四捨五入により、合計が合わない場合がある。



凡例

- 区市町村界
- 町丁目界

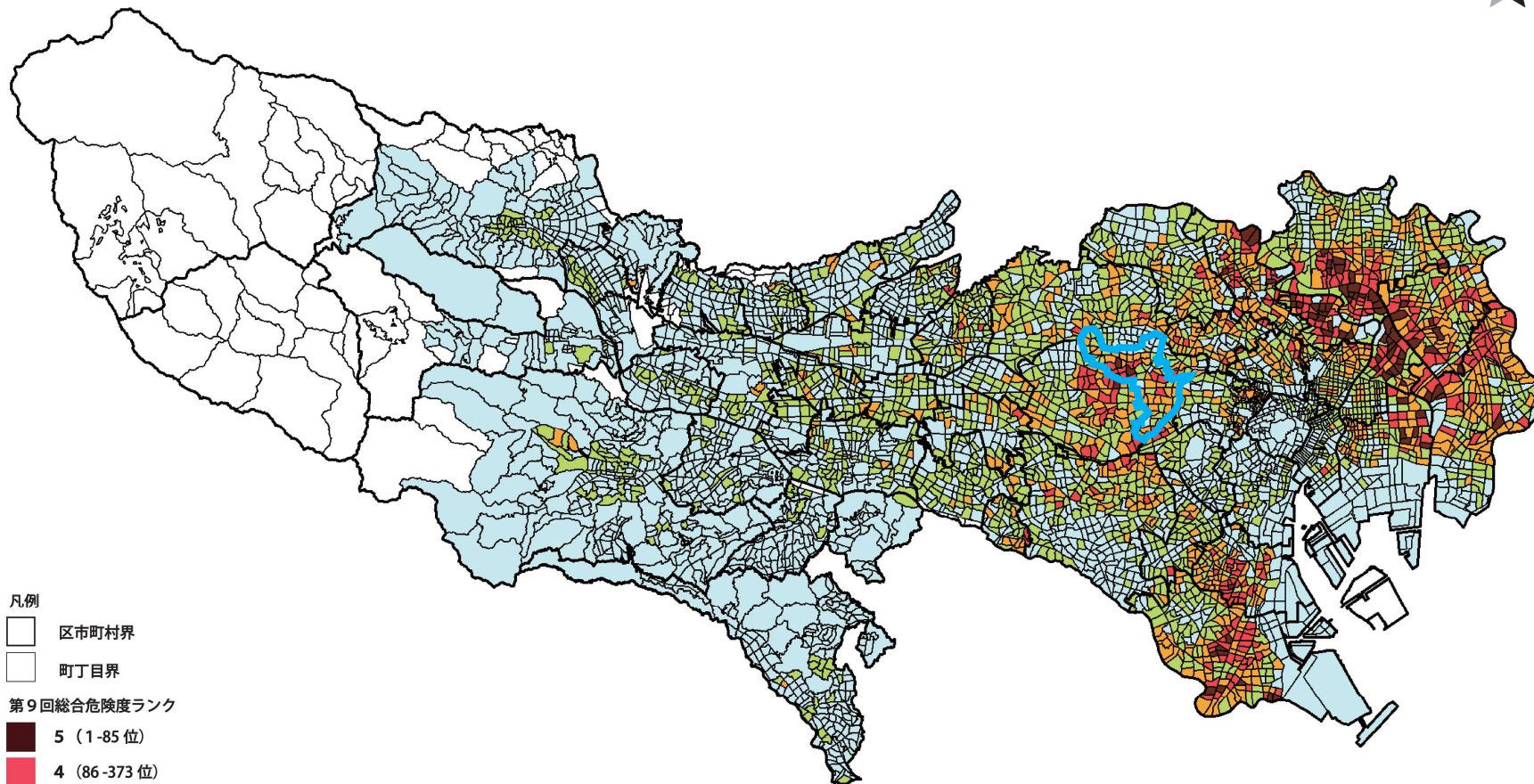
第9回火災危険度ランク	[ 危険量 (棟/ha) ]
<span style="display: inline-block; width: 15px; height: 15px; background-color: #800000; border: 1px solid black; margin-right: 5px;"></span> 5 (1-85位)	[ 22.37 - 4.48 ]
<span style="display: inline-block; width: 15px; height: 15px; background-color: #FF0000; border: 1px solid black; margin-right: 5px;"></span> 4 (86-373位)	[ 4.48 - 1.47 ]
<span style="display: inline-block; width: 15px; height: 15px; background-color: #FF8C00; border: 1px solid black; margin-right: 5px;"></span> 3 (374-1195位)	[ 1.47 - 0.40 ]
<span style="display: inline-block; width: 15px; height: 15px; background-color: #9ACD32; border: 1px solid black; margin-right: 5px;"></span> 2 (1196-2848位)	[ 0.40 - 0.07 ]
<span style="display: inline-block; width: 15px; height: 15px; background-color: #ADD8E6; border: 1px solid black; margin-right: 5px;"></span> 1 (2849-5192位)	[ 0.07 - 0.00 ]



(注) 白抜きは測定対象外の区域を表します。

### 総合危険度ランク図

危険度の高い地域は、荒川・隅田川沿いの地域に加え、品川区南西部や大田区中央部、中野区、杉並区東部などに広がっています。



凡例

- 区市町村界
- 町丁目界

第9回総合危険度ランク

- 5 (1-85 位)
- 4 (86-373 位)
- 3 (374-1195 位)
- 2 (1196-2848 位)
- 1 (2849-5192 位)

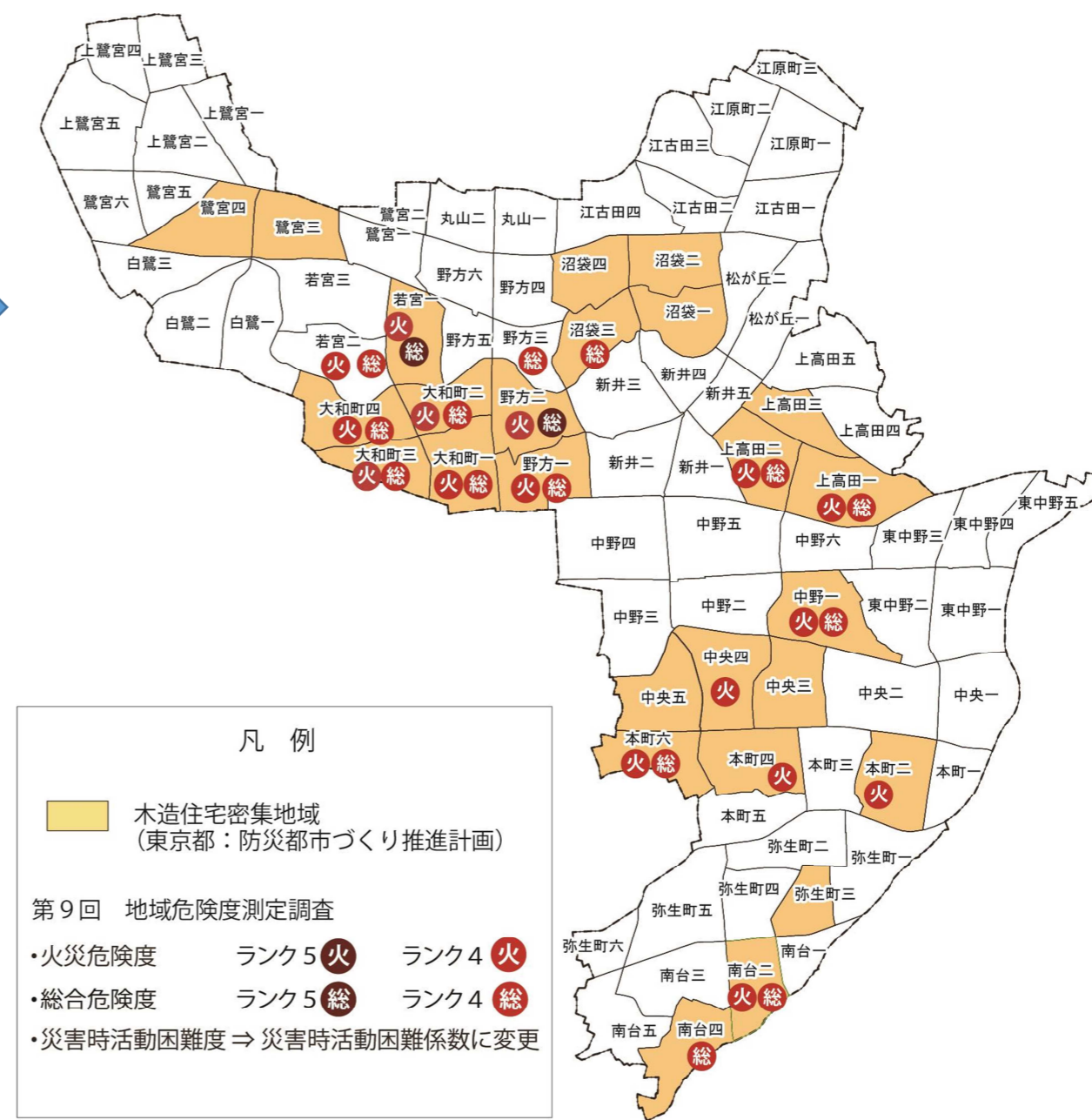
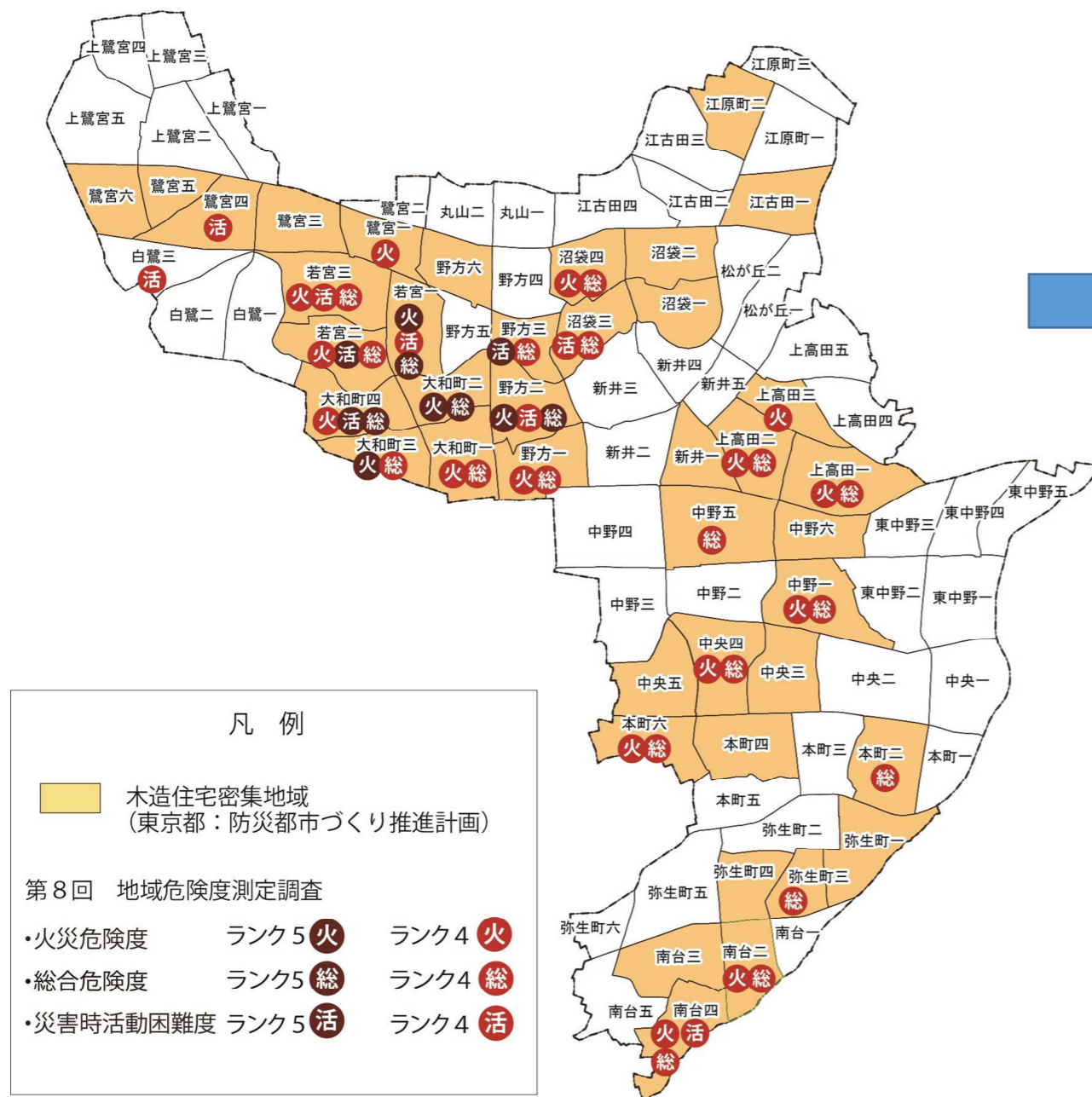


(注) 白抜きは測定対象外の区域を表します。



### 第8回 地域危険度測定調査

### 第9回 地域危険度測定調査



- ・火災危険度4・5の地域は19町丁目から16町丁目に減少し、ランク5の地域がなくなった。一方、ランク3からランク4に上昇した地域が2町丁目（本町二丁目及び本町四丁目）あった。
- ・総合危険度4・5の地域は22町丁目から16町丁目に減少した。
- ・危険度ランク5の地域は若宮一丁目と野方二丁目のみとなっている。